

平成 27 年度 第 1 回帯広市緑化審議会 議事録（概要）

- 1 日 時 平成 27 年 6 月 3 日（水） 13：30～14：30
- 2 場 所 帯広の森・はぐく一む（南町南 9 線 49 番地 1）
- 3 出席委員 辻委員長、瘡師委員、桑波田委員、酒井委員、関口委員、高橋委員、鳥本委員、長谷委員、久永委員、松田委員、三日市委員 11 名
（欠席：伊賀委員、大矢委員、常本委員、飛岡委員 4 名）
- 4 事務局 福島部長、鈴木調整監、石塚課長、谷澤公園管理担当課長、大林課長補佐、金山公園管理担当課長補佐、鈴木係長、小丹枝主任、田中係員、追杉係員、関根係員

5 議事概要

（1）報告事項

①平成 26 年度事業実施報告及び平成 27 年度事業計画について

（事務局より内容説明）

特になし

②「帯広の森 森づくりガイドライン」について

（事務局より内容説明）

委員 今後、このガイドラインがどのような形で、市民の方に利用されていくのか。

また、森の中で活動している人に、このガイドラインというものに対して、一回考えてもらうために、森に関わっている団体の方たちには極力ご参加いただき、一年に数回勉強会をやれば、尚更これが使い勝手の良い、使われるガイドラインになると思うので、お願いしたい。

委員長 ガイドラインは、どういうところに配られる予定なのか。

事務局 帯広市のホームページで、現在全ページ公開している。一般の市民の方に対しては、そういったところで触れていただきたい。森に関わっている各種団体等については、これから個別にガイドラインの運用について説明に上がり、意識の共有を図っていききたい。森づくりガイドラインはページ数が多いため、たくさん刷って配布するのは難しいが、森づくり活動など、いろいろな機会をとらえて、随時配付していききたい。

委員 帯広の森の 3 つのタイプを、市民の皆さんにもっとわかっていただけると、森が楽しくなると思う。また、散開林の利用に重点を置くと、森の目的は体力づくりのウォーキングや、緑に親しむだけでなく、選択する目を市民は育てていかなければならない。非常に似たものが隣にあるが、食べられるものと猛毒を持つものなどを、帯広の森で学習できたら良い。そうすると、散開林は、市民に結び付いた森の利活用の幅が広がっていくと思う。

また、本日はぐく一むに来る際に、はぐく一むの案内は正面に来ればあるが、西の道には一個もなかった。曲がり角にだけでも、はぐく一むはこっちという矢印があると、なお親切だと思う。

以上